

2014年度事業計画「生物多様性の取り組み」を継続  
通常総会で13年度の事業を報告 決算を承認

文・写真 岡秀郎(事務局長)

保全協会は2014年度通常総会を5月24日に中央区内で開催し、13年度の事業を報告、また財務諸表等を承認しました。役員改選では、いずれも重任の理事15名、監事2名を信任投票後それぞれ選任し、途中開いた理事会では夏原由博会長(2期目)と金谷薫副会長を選定しました。退任理事のうち高畠耕一郎氏は1993年から21年間にわたる就任となり、誠にお疲れさまでした。これに先立つ3月20日には14年度事業計画などを審議する総会型の理事会を開いて収支予算と事業計画をそれぞれ承認しました。総会の報告とあわせて事業計画の概要を紹介します。総会の出席は正会員242名のうち会場17名、委任など書面162名の計179名。議長は「えぼしがた公園自然観察会」の代表、田原かおる氏が務めました。

1.公益目的事業

1.公益目的事業

(1) 自然環境調査研究事業

1) 野生シカ調査

大阪の野生動物保護管理について、生息地管理、個体数管理、被害管理の視点から、今期も継続して地域個体群の調査、生息域・他地域との回廊確保、農林業被害などの調査を通じ、健全な生息バランスを考察する。具体的には、能勢長谷や高槻市本山寺地域で、生息地管理、個体数管理、被害管理にアプローチ。モニタリング調査も継続して受託する方針。

2) 高槻本山寺周辺域の森林保全

高槻市の大阪府自然環境保全地域特別地区である本山寺のモミ・ツガ・アカガシ林がシカによる採食圧を受けており、その防除、調査、保全について行政・地元を交えて取り組む検討を進める。

3) タンポポ調査・西日本2015

実行委員会の事務局として19府県に呼びかけ、在来種・外来種や両種の雑種の分布状況から、環境や生物多様性の現状を明らかにする調査活動を進める。

4) その他

①堺南部丘陵(東西道路)植生回復検討 ②万博記念公園野生生物

生息調査 ③環境省モニタリングサイト1000穂谷里地調査コーディネート ④モニ1000一般サイト調査の鉢ヶ峯(堺自然観察会、植物相)と紫金山公園(吹田自然観察会、植物相・鳥類・チョウ類) ⑤里山一斉調査 ⑥里山指標生物調査 ⑦研究・報告集「ネイチャーおおさか・スタディファイル」の発行 ⑧環境学習チーム

(2) 自然環境保護保全活動事業

1) 里山保全

荒れた里山である針葉樹人工林の間伐や竹が侵入・拡大した森林の竹の除去作業をはじめ、地域における里山保全活動を以下の通り行う。①太子町葉室里山クラブ ②太子人工林間伐隊 ③妙見里山倶楽部 ④野崎・飯盛の山と緑を保全する会 ⑤紫金山みどりの会 ⑥穂谷里山保全チーム ⑦生駒いもり里山サポーターズ

2) 里地里山・自然系公園の保全活動と支援

①「信太山に里山自然公園を求める会」に引き続き参画し、市民参加ワークショップの成功のため支援する。②堺市鉢ヶ峯における土砂処分地建設に反対している地元団体を支援する。③烏帽子形公園の国史跡整備計画に関して、自然環境を保護保全する対応を推進する。



10回目の運営協力となった「東成しぜんふれあいフェスタ」



長谷エグループの第1回共生の森づくり植樹で参加者を支援する協会スタッフ(手前右側)

④大阪市水道記念館水族飼育等廃止問題については「水道記念館と生物飼育の存続を考えるネットワーク」に引き続き参画し、存続運動を継続する。⑤大阪南港野鳥園廃止問題については「大阪南港野鳥園を存続させる会」に引き続き参画し、存続運動を継続する。

3) 生物多様性の保全・地域戦略普及等推進の取り組み

生物多様性基本法の施行により「地域戦略」の策定などが徐々に進みつつあるなか、協会としてもこの法・施策制度を活かして、生物多様性保全や地域戦略の普及などの取り組みを進める。

①自治体などを対象とした「生物多様性取り組みきっかけづくり事業」の継続 ②枚方市尊延寺の里地里山における生物多様性の保全・活用推進および農支援・維持の取り組み(特定自然保護推進資金事業に採択) ③生物多様性・自然環境基礎調査の普及 ④生物多様性「にじゅうまるプロジェクト」をテーマにしたワークショップを開催し、各活動グループが生物多様性保全活動を展開できるように支援する。⑤自治体や企業団体などを対象とした生物多様性の学習会・ミニ講座の開催

4) その他

①共生の森づくり ②ビオトープづくり ③学校・園ビオトープの運営調査・提案(特定自然保護推進資金事業に採択)

(3) 自然環境保護保全の人材養成・普及啓発事業

1) 人材養成講座の開催

保全活動のための人材養成および一般市民への自然保護思想の普及のため、各種講座を開催する。①第39期ナチュラルリスト入門講座 ②第24回自然観察インストラクター養成講座 ③第21回自然かんさつ塾 ④第12期自然環境市民大学 ⑤里山step-up研修 ⑥プロジェクト・ワイルド エducーター養成講習会 ⑦草地生態系保全講座

2) 自然観察会・自然体験の開催

地域観察会およびテーマ観察会を以下の通り開催する。①百樹会 ②堺自然観察会 ③吹田自然観察会 ④服部緑地自然を楽しむ会 ⑤えぼしがた公園自然観察会 ⑥グリーンレンジャー ⑦枚岡ネイチャークラブ ⑧淀川自然観察会 ⑨海の観察会 ⑩みんなでかんさつ隊 ⑪枚方しぜんハイキング ⑫大和川自然観察会 ⑬泉北自然を楽しむ会 ⑭茨木・高槻自然に親しむ会 ⑮堺2区自然観察会 ⑯うみがめ観察会 ⑰「空の会」自然観

察会 ⑱まち中公園自然観察隊 ⑳チリモン自然観察会

3) 一斉行事

①府内一斉「みんなでセミ羽化ウォッチングinおおさか」 ②府内一斉「どんぐりまつり」

4) 講師・スタッフ派遣事業

行政やその関係機関、図書館、民間事業団体などが主催する自然環境保全に関する講座や講演、自然観察・体験の指導などの普及行事、および里山保全やその指導者養成に関する講座や技術的指導などに、講師・スタッフを派遣する。外部からの依頼事業については「対外自然協力隊」で対応する。

5) 会報誌「都市と自然」の発行

保全協会が大阪における自然保護運動のセンターであるという位置づけのもと、保全協会内外に送付し自然保護・保全運動の伝達を重視する。

6) ホームページの運営

協会の広報メディアとして、HPの改善・充実を継続する。各グループにHP更新作業を分担するとともに、HP技術をそなえた人材の参加を呼びかけ、委員会の充実をはかる。また、「都市と自然」の記事の一部をHPにも掲載するなど直近の活動に関する情報発信機能を強める。HPと連動する情報発信ツールとしてFacebookを活用する。